

# 東海

情報提供は支所またはJA中央会へ

中部支所

〒460-0003  
名古屋市中区錦3-3-8 JAあいちビル西館3階

☎052(971)2020  
FAX052(971)2024  
Eメール  
chubu-h@agrines.co.jp

東海地域の中央会

岐阜中央会 ☎058(276)5631  
静岡中央会 ☎054(284)9544  
愛知中央会 ☎052(951)6944  
三重中央会 ☎059(229)9006

今日の天気

☁のち 降水確率(%)  
☀時々 午前午後 夜半

岐阜

岐阜	70	50	50
高山	31度	25度	
郡上	60	50	30
	30度	22度	
	70	50	50
	28度	23度	

最高気温/最低気温

静岡

静岡	70	60	60
三島	31度	26度	
	70	70	60
	32度	25度	
浜松	70	60	60
	31度	26度	

愛知

名古屋	70	50	50
豊田	32度	25度	
	70	50	50



【岐阜・西美濃】JAにしみの管内で15日、県産米の全銘柄トップを切った2023年産「あきたこまち」の出荷が始まり、同JAとJA全農岐阜は海

津市の同JA海津集出荷センターで、初出荷式を開いた。水稲生産者やJA関係者ら14人が出席。米の品質検査やテープカットなどの後、「あきたこまち」約12トをトラップに積み込み、初出荷した。23年産「あきたこまち」は、天候不順や例年より早い梅雨入りや梅雨明けなどの影響が心配されたが、品質は良好。出荷に先立ち行われた検査では、同JA営農販売部販売課の伊藤孝宏課長が品質を確認し、1等

## 人手不足の課題解決



収穫を行うボランティア

【あいち海部】JAあいち海部は組合員農家が抱える労働力不足の課題解決に向けて、同JAが地域農業

の応援団と位置付ける。組合員から援農ボランティアを募集している。7月から同JA管内特産の花ハスで収穫、出荷作業の募集をした。花ハスは関西地方で盆に飾る仏花として親しまれており、毎年7月末から8月初旬の約10日間、生産者11人が約20万本を出荷する。産地ではこれまで、実需者のニーズに応えるために短期パートを募って出荷対応してきたが、年々人手

不足が深刻化していた。そこで同JAは昨年度から農家の労働力確保に向けて、援農ボランティアの募集を始めた。昨年度は花ハスの作業で9人が集まった。本年産の参加者も各生産者のもとで早朝の収穫作業や出荷場での選別、梱包（こんぼう）作業などをした。同JAでは今後も農家の人手不足解消や准組合員の地域農業への理解促進につなげるため、今後も活動の輪を広げていきたい考えだ。

ナスやピーマ、

## 准組ボランティア活躍 あいち海部

【あいち海部】JAあいち海部は組合員農家が抱える労働力不足の課題解決に向けて、同JAが地域農業

の応援団と位置付ける。組合員から援農ボランティアを募集している。7月から同JA管内特産の花ハスで収穫、出荷作業の募集をした。花ハスは関西地方で盆に飾る仏花として親しまれており、毎年7月末から8月初旬の約10日間、生産者11人が約20万本を出荷する。産地ではこれまで、実需者のニーズに応えるために短期パートを募って出荷対応してきたが、年々人手

不足が深刻化していた。そこで同JAは昨年度から農家の労働力確保に向けて、援農ボランティアの募集を始めた。昨年度は花ハスの作業で9人が集まった。本年産の参加者も各生産者のもとで早朝の収穫作業や出荷場での選別、梱包（こんぼう）作業などをした。同JAでは今後も農家の人手不足解消や准組合員の地域農業への理解促進につなげるため、今後も活動の輪を広げていきたい考えだ。

ナスやピーマ、

女性スクール  
収穫と袋詰  
JAあいち  
【あいち尾東】  
月下旬、「女性の  
リスク」中  
第8講を開き、  
参加した。農産  
を通して食を支  
の役割を理解し  
地消の大切さを  
てもらうことが  
4月から12月ま  
15回で講義・実  
して野菜栽培や  
学ぶ。

園芸アカデミーの  
人材育成に寄付金  
岐阜造園  
【ギフ】岐阜造園  
（岐阜市）は、岐阜県  
立国際園芸アカデミー  
（可児市）に対し、人  
材育成のための寄付金  
として100万円を贈  
った。8月上旬に県庁  
で贈呈式が行われた。  
同アカデミーは園芸  
系専門課程が設けられ



た2年制の専修学校  
で、花き生産、花き装  
飾、造園緑化の3コ  
ースがある。寄付金は、  
技能五輪参加や視察研  
修、技能検定受験など  
の費用に活用される。  
この日、同社の山田  
準社長が古田肇知事に  
寄付金の目録を手渡し  
「今後のための基礎を  
しっかり学び、優れた  
人材に育ってほしい」  
と学生への期待を語っ  
た。同社はアカデミー  
への寄付を2019年  
から続けている。

不足が深刻化していた。そこで同JAは昨年度から農家の労働力確保に向けて、援農ボランティアの募集を始めた。昨年度は花ハスの作業で9人が集まった。本年産の参加者も各生産者のもとで早朝の収穫作業や出荷場での選別、梱包（こんぼう）作業などをした。同JAでは今後も農家の人手不足解消や准組合員の地域農業への理解促進につなげるため、今後も活動の輪を広げていきたい考えだ。

女性スクール  
収穫と袋詰  
JAあいち  
【あいち尾東】  
月下旬、「女性の  
リスク」中  
第8講を開き、  
参加した。農産  
を通して食を支  
の役割を理解し  
地消の大切さを  
てもらうことが  
4月から12月ま  
15回で講義・実  
して野菜栽培や  
学ぶ。

【三重・伊勢】度会町で水稻を栽培する陰地伸哉さんと盛希さん夫妻は、中山間地の農村維持に貢献するためのライスセンター新設資金を、クラウドファンディング（CF）で集めている。目標金額は300万円。「農業で度会町を元気にしたい」と意気込む。

## 三重県度会町

【三重・伊勢】度会町で水稻を栽培する陰地伸哉さんと盛希さん夫妻は、中山間地の農村維持に貢献するためのライスセンター新設資金を、クラウドファンディング（CF）で集めている。目標金額は300万円。「農業で度会町を元気にしたい」と意気込む。

返礼品は、もうかるモデル、確立  
米や体験



完成間近の乾燥機  
を確認する陰地さん夫妻  
（三重県度会町）  
「できない」と考えた陰地さん夫妻は、自分たちでライスセンターを新設することを決意した。ライスセンターを新設することで、適期を逃さずに刈り取りができる他、水分調整も可能になる。同町産水稻の品質底上げにつなげることも狙いの一つで、「稲作で『もうかるモデル』を確立したい」と話す。

CFの返礼品には、導入した機械を使用し、乾燥した2023年産米や24年産米の田植え体験など。「CAM FIRE」で、9月15日まで寄付を募る予定。



ラグビー勝利へ  
地元産でトライ  
JAあいち豊田  
【あいち豊田】JAあいち豊田は7月下

旬、豊田市保見町にあるトヨタスポーツセンターで、豊田市・みよし市などを拠点地域とするラグビーチーム「トヨタヴェルブリッツ」を表敬訪問し、豊田市産の桃「川中島白桃」と梨「幸水」それぞれ5kg（1kg5パック）を寄贈した。同JAは、同チームが行う地域貢献活動などに賛同し、2022年12月からパートナーシップ契約を締結している。地元農産物を食べて英気を養い優勝を目指すチームをサポートして、サプライバーパートナーとして今回寄贈する桃・梨の他、季節に応じた旬の農産物を随時提供し、食の面でチームをサポートしている。

# 「中山間地にライスセンターを」 移住夫婦がCF挑戦

クラウドファンディング

夢咲茶づくり塾  
病害虫防除学  
静岡・JA遠州夢咲  
【静岡・遠州夢咲】JA遠州夢咲茶業振興センターは7月下旬、菊川市の同センターで2023年度第1回夢咲茶づくり塾を開いた。茶業関係者ら約20人が参加した。

同塾は、夢咲ブランドの向上を目指して年

間4回開講。茶園管理の基礎から応用まで学べるようカリキュラムを組む。第1回は「病害虫の効率的防除と化学農薬の低減」がテーマ。県茶業研究センターの研究員や同JA茶業振興センターの職員が講師を務めた。

管内で発生する主要病害虫の特徴と防除対策を示し、殺虫剤の種類や特性を理解するこ

とや、観察や予測  
要性を呼びかけ  
同JA茶業振興  
ターの近江昭彦  
「病害虫防除の  
識を高め、効率  
除体系を確立し  
からの茶栽培管  
り組んでもらい  
と期待した。  
同JAは今後、  
事例に取り組み  
や研究者などを  
迎え、塾を開いて